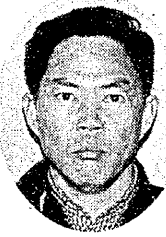


# 二十年の苦しみを 裁判闘争勝利へ

原告団団長 小川 紘 志



新年おめでたいと思います。今年も労働者の生命と生活を守り、裁判闘争勝利のためにがんばりましょう。

昨年は三池大災害から二十年をかぞえ、大牟田市民会館での抗議集会をはじめ、総評、安全センターの主催する「労災職業病防止中央研修会」が開かれるなど、全国の皆さんに支えられてきた二十二年のたたかいの重みをひしひしと感じることも、三井資本

炭じん清掃を怠ったための典型的災害であること、科学的調査と分析結果に基づいて詳しく証言されました。

このように大災害の責任が、会社の保安の手抜きにあることが、法廷の場でも明白になりました。裁判も今年中には証人調べを終って結審を迎えようとしています。しかし、大詰に近づけば近づけば、会社側の巻きかえしや切り崩しはげしさを予想されます。三井鉱山の犯罪的責任を明らかにし、遺族と患者に完全な救済をさせ、労働災害の再発防止のため、たたかいはまさに正念場です。

私たちが公害から二十年間の、筆舌にのせない苦しみと怒りを思い起こし、この二十年間の粘り強いたたかいは必ず勝利させるために、さらに団結と活動を強化する決意です。本年も一層の指導と支援をお願い致します。

## 一九八三年十大ニュース

- ▲中曽根首相が 不沈空母発言
- ▲中曽根首相が一月訪米、列島不沈空母化、海峽封鎖を約束。核空母エンブラ(3月)、カーリン(10月)が佐世保。
- ▲荒れる中学生 浮浪者を襲撃
- ▲横浜で中学生が浮浪者を連続襲撃し、三人死亡、十三人が負傷。荒れる中学生の行動にショック広がる(2月)。
- ▲地震、津波など 災害が多発
- ▲日本海中部地震・津波(5月) 山陰地方集中豪雨(7月)、三宅島噴火(10月)など災害もろい日本列島。
- ▲参議院選挙で 初の比例代表制
- ▲自民党の比例区得票率は史上最低の三五・三〇％に。野党は率伸びたものの議席減(6月)。
- ▲アキノ氏暗殺で 反政府運動
- ▲フリービーンで野党指導者アキノ氏暗殺。マルコス独裁政権打倒に向けて反政府運動が空前の盛り上がり(8月)。
- ▲大韓機を撃墜
- ▲連軍機が領空に入った大韓航空機をミサイルで撃墜、日本人を含む二百六十九人が死亡。
- ▲ミサイル配備で 空前の反核デモ
- ▲年末からの米国製新型ミサイルの配備に反対し、西独百三十三万人など欧米で史上空前の反核デモ(10月)。
- ▲田中角栄に 有罪実刑判決
- ▲東京地裁がロッキード裁判で田中角栄に懲役四年の実刑判決。田中は「生ある限り議員を辞めない」との所感を発表(10月)。
- ▲米軍が奇襲 グレナダ侵攻
- ▲米軍が中米・カリブ海の小国グレナダを奇襲・制圧。国連や各国で非難高まる(11月)。
- ▲解散・総選挙で 自民党が退潮
- ▲田中角栄議員辞職勧告決議をたなざらしたまま、衆院が解散、総選挙行われる(12月)。
- ▲北族多額新鉱 別 閉山
- ▲一九八二年十月十六日、九十三人の犠牲者を出した大災害から二年余、ついに閉山。十月二日解散大会を開いた。

## 許せぬ三井鉱山

遺族会会長 溝口 生 松

新年おめでたいと思います。昭和三十八年十一月九日、三井鉱山の保安無視によって四百五十八人の夫や子供が殺され、その上八百三十九人のCO中毒患者を出して、はやく二十年になりました。

安保と三池のたたかいは、「去るも地獄、残るも地獄」を言葉に命がけでたたかいました。首を切られた労働者が去った後の職場は、残った労働者も地獄でした。労働面賃金面も差別され、保安無視、労働強化によって、次々に災害を起し、四十八人も九日の大災害となったのです。起ころべくして起きた大災害です。

三井鉱山の栗木社長は、私たちに、「大変な事故を起して誠に申し訳ございません。今度は絶対に二度とたたき事故は起しません」と命日でした。一言で二十年こううめいしてあります。

せん。差別もいたしません。遺族の皆さんには決して心配はかけません。と、頭を下げて約束しました。しかし、四十二年九月二十八日坑内火災を起し、上村さんをはじめ七人の労働者を殺し、四百三十七人もCO中毒患者を出したのです。そして今も災害は続いていきます。大災害から今日まで百三十七人の命が、むさむさと三井鉱山の手に奪われていきます。昨年の十一月九日は二十年目の命日でした。一言で二十年こううめいしてあります。

遺族としての損害立証も終えませんでした。十月十四日の公判では、災害当時政府調査団の一人であった荒木先生が原告側の証人として、三井鉱山の責任を認め、証言してくださりました。夫や息子たちが殺された時、私たちが心から願ったのは、一、大災害の原因を明らかにし、三井の責任を追及し、遺族の生活を補償させる。二、かろうじて九死に一生をえた患者を、もとの体にさせる。三、再び災害を起さずな。この三つの悲願をもったたたかひは、炭鉱で働く労働者の命を守るのと同時に、すべての職場から労働災害を撲滅する道だと思えます。



遺族会の会員の死亡も十六人になりました。遺族年金のない人が十八人もいます。病弱者が三十人

## 労働者諸君！ 勉強の成果教えます



次には、人さまを思いやることです。人間、一寸先は闇、幸福の絶頂から失恋の地獄に墮ちるのはままあること。そんなとき、支えてくれるのは、日ごろのつきまじりです。諸君の場合、仲間が困っている人がゴロゴロいる。恵まれ過ぎて、とまるで姑の嫁いびり、物言えは響きわたる公務員。不景気を理由に買いかねるパートに未組労働者。この人たちの窮状を放っておけば、やがてわが身に累がおよびます。人助・仲助、最良といふのまにやら値切られ、放し、これがみんなの金まわりを悪くしたのも明白でしょう。

私 生まれも育ちも未組労働者、全国各地でテキヤを営み、労働に無知、春闘なんて見たことないが、額に汗して働く労働者諸君は大好きで、働かざる者食うべからず、食うざる者、色恋に無関心で信じて生きるという。聞きますと、何やら世の中不景気で、巷ではサラ金とやらが大繁盛、失業者も多いけど、仕事があっても喜ばない、賃金が安いんだとか。裏のタコ社長も、町の印刷屋はもうアカン、いっそ工場たんで一度でいいから銀行でタンカを切りたいと赤い顔して申します。冗談じゃない。そんなじゃ、妹さんらの専業主婦は失業、一族郎党、毎日タンコ食って生きろというの。 「兄さん、社長も大変なんですよ」と、半のあやういふに中小企業の倒産も労働者諸君ののびきりない響きで、私のようなテキヤの不景気でさえも、みーんな仕掛けは一緒であるらしい。要は、ゼニが私たちに庶民にまわらず、どっかで一人占めして居る奴がいます。 「金は天下のまわりもの、だれたッ！ そいつは」。怒り狂

う私に対し、博は「それは何と云うか、例えば大きい会社の偉い人たちが『さうね』と、やけに落ち替えている。ただし、日本には春闘というのがあって、これがうまます。ぼくは、こらにも金がまわって私どもの懐具合も少しは良くなる、と云います。 よしわかった。みんなが幸福になるなら、その春闘というのを大繁盛、失業者も多いけど、仕事があっても喜ばない、賃金が安いんだとか。裏のタコ社長も、町の印刷屋はもうアカン、いっそ工場たんで一度でいいから銀行でタンカを切りたいと赤い顔して申します。冗談じゃない。そんなじゃ、妹さんらの専業主婦は失業、一族郎党、毎日タンコ食って生きろというの。 「兄さん、社長も大変なんですよ」と、半のあやういふに中小企業の倒産も労働者諸君ののびきりない響きで、私のようなテキヤの不景気でさえも、みーんな仕掛けは一緒であるらしい。要は、ゼニが私たちに庶民にまわらず、どっかで一人占めして居る奴がいます。 「金は天下のまわりもの、だれたッ！ そいつは」。怒り狂

乾杯で勝利を誓おう新年に  
初日の出祈る春闘勝利の芽  
団結は勝利への守り神  
退職者 松永 一郎